

## 小児科後期研修医 小児神経内科専門研修プログラムについて

～ 小児神経内科を勉強したい後期研修医の先生へ ～

### 滋賀県立小児保健医療センターで小児神経内科を学ぶということのメリットは？

当院では様々な小児神経領域の疾患の症例数が豊富にあり、その診察やマネジメントを学ぶだけでなく、小児神経診療に関わる検査手技、またその解析について体系的に効率よく経験・学習することができる

当院での小児神経内科専門研修プログラムでは特に以下の項目について力を注いでおります

1. 脳波判読の基礎を学び、実際に多くの脳波を判読・解析することができる
  2. 神経伝導検査や筋電図など電気生理検査を実際に測定し、その解析を行うことができる
  3. 新版K式発達検査やWISC IVなどの神経心理検査について理解を深め、発達障害など診療の質を高めることができる
  4. 重症心身障がい児（者）へのきめ細かいマネジメントについて学習し、診療に従事できる
  5. 臨床遺伝学に関する知識、また症例の経験を深めることができる
  6. 小児在宅訪問医療を実際に体験することにより、地域連携の大切さを学ぶことができる
  7. 乳幼児の小児神経学的所見の取り方を学び、正確な乳幼児期の発達の評価を行うことができる
- \* 当院は小児神経学会専門医研修医認定施設、日本てんかん学会認定研修施設、臨床遺伝専門医認定研修施設に認定されております。

### 1週間の研修カリキュラムについて

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
8:00			8:35	8:15	8:45
9:00			リハビリカンファ	Morning 読書会	遺伝学の読書会
10:00	病棟業務	病棟業務	病棟業務	病棟業務	在宅訪問診療見学
11:00				在宅訪問診療見学	病棟診療 or 総合内科外来診療
12:00				くまだキッズファミリークリニック	
13:00					
14:00	新患問診 and/or 専門外来見学	専門外来見学	専門外来見学	専門外来見学	専門外来見学
15:00	発達障害 てんかん 神経内科	内分泌外来 頭痛外来 筋疾患外来 神経内科	てんかん 発達障害 内分泌外来 神経内科	アレルギー 遺伝 カウンセリング 神経内科	アレルギー 循環器 発達障害 神経内科
16:00			病棟業務	病棟業務	病棟業務
17:00	病棟業務	病棟業務			
18:00		小児神経カンファレンス	小児科症例検討会		小児神経レクチャー
19:00					

- \* 病棟患者の病状や人数などにもよりますが、基本的には午前中は病棟診療、午後に専門外来見学などの学習時間とする
- \* 病棟業務や学会・研究会などにより内容は変更することはありませんが、時間や日程が変更することがあります

## 当院での研修プログラムについて

- ・ 病棟診療 基本的には入院中の患者 1 名に対してスタッフと後期研修医の 2 人体制で診療を行ってまいります  
患者の病態把握やマネジメントについてスタッフと相談しながら、診療を行いますので、一人で問題点を抱え込む必要はありません。（症例検討会では担当症例のプレゼンを行ってまいります）
- ・ 専門外来見学 当院では様々な専門外来を行っており、特に小児神経患者に関わる内分泌や循環器、腎臓などの疾患や外科疾患（整形外科、小児外科・泌尿器科など）、また発達障害などの小児心療内科や遺伝療育、頭痛外来など多岐にわたっています。それぞれの先生方の興味や関心によって選択し、見学することで幅広い知識を得ることができます
- ・ 症例検討会（外来新患者+病棟症例）  
週に 1 回（水曜日の午後 5 時より）  
入院患者全員のプレゼンテーション（後期研修医）を行い、患者の問題点と今後の治療方向性についての確認・検討を行う+1 週間の外来症例で新患の紹介と問題症例の検討
- ・ リハビリテーション新規症例検討会：週に 1 回（水曜日 朝 8:35 より）  
新規にリハビリテーション依頼をした症例の病態把握（ビデオで患者の状況を見ながら）とリハビリテーションの方針について検討
- ・ 在宅訪問診療見学（月に 1 回 木曜日の朝 9 時、熊田キッズ・ファミリークリニックにて）  
当院 OB の熊田知浩先生が取り組んでいる在宅訪問診療を、実際に熊田先生に付き添って体験・勉強を行います。これから  
地域医療として必要になってくる医療分野だ  
と思いますので、貴重な  
経験になると思います。



〈訪問在宅医療の実際風景〉

〈クリスマスでの診療〉

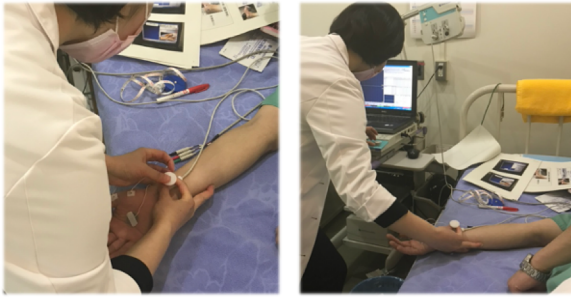
（ご家族の同意のもと写真掲載させていただいております）

## 当院での勉強会について

- ・ 小児神経カンファレンス：月曜日の午後 5 時半より開催
    - \* MCCS 脳波カンファレンス：第 1・3 週の月に 2 回
- 当院で施行した間欠期脳波検査や発作時ビデオ脳波検査を判読し、レポート記載をプレゼンしてもらう「脳波判読会」と小児期で経験すべきてんかん症候群を発作症状の詳細な評価や脳波・神経放射線学的検査などの実際のデータを多く取り入れたテキスト（別紙資料 1）を用い学習する「てんかん CASE-BASED LECTURE」の 2 部構成となる
- ・ 本カンファレンスは外部若手医師の参加可能としている



- \* 電気生理学検査実習会：第2週 月に1回



〈 神経伝導検査の実習風景 〉

電気生理検査（伝導検査や筋電図）を実際に行うことで、その検査原理について深く学ぶ（基礎編）と実際の症例の検査結果を踏まえ、解析する（実践編）とで構成

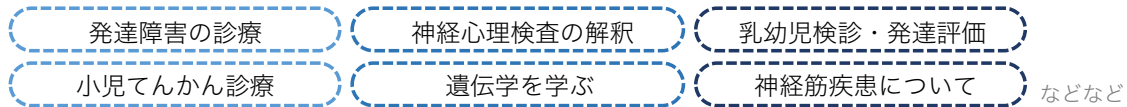
- \* 神経心理検査検討会：第4週の月に1回

WISC IV などの神経心理検査の結果をどう読み解くかということ学ぶ勉強会であり、発達障害児の様々な神経心理検査プロファイルからその認知特性の理解を深めることができる

- 小児神経レクチャー：金曜日の午後5時半より約1時間

小児神経領域において小児科医として知っておくべき内容を中心に4名の小児神経専門医がそれぞれの専門領域を生かしたレクチャー

レクチャー内容について



- モーニング読書会：木曜日朝 8:15 より 30分

当院図書室のある英文誌「Ann Neurol.」「J Inherit Metab Dis.」「Neuromuscul Disord.」「Epilepsia.」「Child Neurol.」「Pediatr Neurol.」などから担当雑誌を決め、コーヒーでも飲みながら興味ある論文を30分で紹介する  
発表は2ヶ月に1回の頻度となるかと思えます

### 院外での勉強会について

- BEC（びわ湖 EEG カンファレンス）：3-4ヶ月に1回 19:00より 熊田キッズ・ファミリークリニックにて 滋賀医大小児神経グループ、大津日赤病院の小児神経科医とともに脳波判読を軸とする小児てんかん症例検討会
- 京都小児神経症例検討会：月に1回 金曜日 京都大学医学部附属病院にて 京都大学、京都府立医大、京都近辺の小児神経科医が集まって、一癖、二癖ある症例の診断や治療などについている話し合う症例検討会
- 京都大学高次脳機能グループカンファレンス：月に1回 月曜日 京都大学医学部附属病院神経内科カンファレンス 京都大学てんかん・運動異常生理学講座の池田昭夫先生を中心とし、脳神経外科、高次脳機能グループ、精神科、小児科、放射線科との合同てんかん症例検討会で、主に外科的治療の適応についての検討

## 当科で研修を考えている後期研修医の先生へ

当院の小児神経科には古き伝統があり、かつ豊富な症例に恵まれています。若い先生が小児神経学をじっくり学び、さらに、学んだことを直ちに臨床の場で実践していくことができることが当院の最大のメリットだと考えております。

小児科が他科と最も異なる点は「人、臓器、組織の発達過程を診る」とするならば、その中でも「脳のダイナミックな発達」は非常に興味深い領域であると思います。また小児科の様々な疾患においても、「トータルケア」が求められている昨今、小児科専門医として小児神経はどうしても避けて通れないのではないのでしょうか。当科での研修は小児神経を専門に考えている先生だけでなく、小児科専門医として小児神経を短期間でしっかり勉強してみたいと思っている先生にも必ず有益な研修・体験になるものと信じています。

また、研修された先生には、なるべく多くの学会・研究会などでの発表や医学論文の作成など積極的に取り組んでいただけるように配慮いたします。当院での研修に興味がありましたらお気軽にご連絡ください。

連絡先： 滋賀県立小児保健医療センター  
小児科 代表 加藤 竹雄

〒524-0022 滋賀県守山市守山5丁目7番30号

TEL: 077-582-6200、E-mail: tkokt4819@gmail.com